

思考のための 3つのスキル

汎用的な見方・考え方

どの教科・学びにも使える、
『思考を深める』ためのスキル

思考フロー



課題設定

なぜ？不思議！？もやもや、○○がよくわからない、もっと調べたい・考えたい、感動した...等)



インプット

本、ネット、動画、音声、他者、体験・経験等からの情報収集



スループット

情報の整理、分析
※汎用的な見方・考え方が便利！

アウトプット

話す、書く、表現、創作、行動等

各ステップでは... 振り返り・評価



比較

物事や事象等を比べて「同じ点」「違う点」を探ることで、特徴や本質、関係性を明らかにする。共通点・相違点を明らかにしたり、その過程で分類・関連づけたり、法則や決まり、傾向を見つけ出したりすることに有効。



【例】

同異点整理：複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

分類：共通点に注目してグループ分けする

関連付け：複数の対象がどのような関係にあるかを見出したり、ある対象に関係するものを見つけて増やしたりする。

傾向分析：表やグラフ、数値や事例を比べて、共通するパターンや変化の法則等を見つける

分解(⇔統合)

物事や事象等を細かく分けて構造やプロセスを明らかにしたり、抽象化・具体化を通じて整理したりする。複雑な対象を理解しやすくするだけでなく、一見シンプルな事象についても意味や価値をより深く捉え直したり、多様な見方や表現につなげたりできる。



【例】

順序付け：物事の手順や順序、段階を整理して考える

抽象化：対象の中から大事な要素や法則、原理等を取り出してまとめる



具体化：対象に対しての具体例を挙げるなど下位概念の要素に分けたり、くわしく説明したりする。

構造化：考えを構造的(網構造、層構造等)に整理する

理由付け：対象の理由や原因、根拠を見つけたり予想したりする。

多面的・多角的

物事や事象等を、感覚・立場・教科等の視点を変えて見たり考えたりすることで、新たな気づきや深い理解を引き出す技法。視野を広げたり、理解を深めたり、他者理解にもつながったりする。



【例】

五感：五感(見た目・音・におい・触感・味 等)を通して考える

多視点：多様な立場や役割、観点等を通して考える
(例：当事者・相手・第三者、過去・現在・未来、賛成・反対 等)

教科の見方・考え方：各教科の視点で捉える

思考のための 3つのスキル

汎用的な見方・考え方(図解版)

どの教科・学びにも使える、
『思考を深める』ためのスキル

思考フロー



課題設定

なぜ？不思議！？もやもや、○○がよくわからない、もっと調べたい・考えたい、感動した...等)



インプット

本、ネット、動画、音声、他者、体験・経験等からの情報収集



スループット

情報の整理、分析
※汎用的な見方・考え方が便利！



アウトプット

話す、書く、表現、創作、行動等

各ステップでは... 振り返り・評価



☆シンキングツールを使う時は、目的を持って（なぜそれを使っているかを考えて）使いましょう！

比較 …比べる



同異点整理：複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。



分類：共通点に注目してグループ分けする



関連付け：複数の対象がどのような関係にあるかを見出したり、ある対象に関係するものを見つけて増やしたりする。



傾向分析：表やグラフ、数値や事例を比べて、共通するパターンや変化の法則等を見つける



分解(⇔統合) …細かく分ける(⇔まとめる)



順序付け：物事の手順や順序、段階を整理して考える



抽象化：対象の中から大事な要素や法則、原理等を取り出してまとめる



具体化：対象に対しての具体例を挙げるなど下位概念の要素に分けたり、くわしく説明したりする。

構造化：考えを構造的(網構造、層構造等)に整理する



理由付け：対象の理由や原因、根拠を見つけたり予想したりする。



多面的・多角的 …多様な視点で考える



五感：五感(見た目・音・におい・触感・味 等)を通して考える

多視点：多様な立場や役割、観点等を通して考える
(例：当事者・相手・第三者、過去・現在・未来、賛成・反対 等)

教科の見方・考え方：各教科の視点で捉える

